

インストール手順 (JUSE-StatWorks/V5 ネットワーク版)

ネットワーク版の新規インストールや、アップデート手順を示します。

目次

1. サーバーPC のインストール.....	2
1-1) 事前準備	2
1-2) サーバーセットアップ	2
1-3) サービスの起動	7
1-4) ライセンスセットアップ	13
1-5) ライセンスのアクティベート	14
2. クライアント PC のインストール	20
2-1) 事前準備	20
2-2) クライアントセットアップ	20
3. サーバーPC のアップデート.....	26
3-1) 事前準備	26
3-2) サーバーアップデート.....	26

1. サーバーPC のインストール

1-1) 事前準備

- あらかじめ管理者権限のあるユーザーアカウントでログオンするか、管理者権限のあるユーザーアカウントのパスワードをご用意ください。
- サーバー/クライアント間の通信は「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)」で行われます。「インターネットプロトコルバージョン 6 (TCP/IPv6)」のみが設定されたネットワークには対応していません。
- Windows Server 2003 をサーバーとする場合は、予め.NET Framework 2.0 のインストールをおこなっておいて下さい。
- Windows Server 2012 をサーバーとする場合は予め.NET Framework 3.5 のインストールをおこなっておいて下さい。
- StatWorks/V5 の最新リビジョンをインストールする場合、ネットワーク版のサーバーPC には Microsoft の「.NET Framework 4」が入っている必要があります。入っていない場合は、.NET Framework 4 のインストールをおこなっておいて下さい。
- 有償保守契約者向けアップデート版をインストールする際は、お持ちの通常製品のユーザー ID を用いて上書きインストールを行います。(既に入っている製品をアンインストールする必要はありません)

1-2) サーバーセットアップ

手順 1

CD をドライブに挿入します (オートスタートが設定されている場合は自動的に setup.exe が起動します。手順 2 は必要ありません)

手順 2

ファイルエクスプローラで CD 上の setup.exe を探して実行するか, [スタート]メニュー-[ファイル名を指定して実行]を選んで「コマンド入力欄」に「<CD ドライブ名>:¥setup.exe」と入力して[OK]ボタンを押します。

手順 3

インストールタイプの選択画面が表示されます。「サーバーセットアップ」を選択し、「次へ」ボタンを押して下さい。



手順 4

インストール先ライセンスサーバーとログサーバーの IP アドレス(ホスト名)を入力してから「次へ」ボタンを押して下さい。

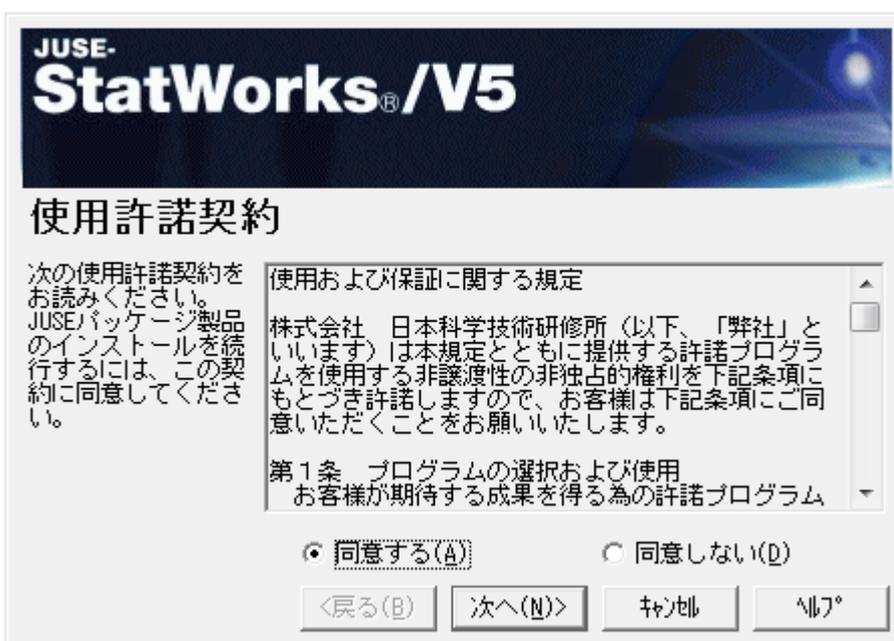


※初期状態ではサーバーから取得された IP アドレスが表示されます。サーバーに複数の IP アドレスが設定されている場合、そのうちの 1 つを自動的に選んで表示します。必要に応じて変更して下さい。

※本画面の IP アドレスは例です。

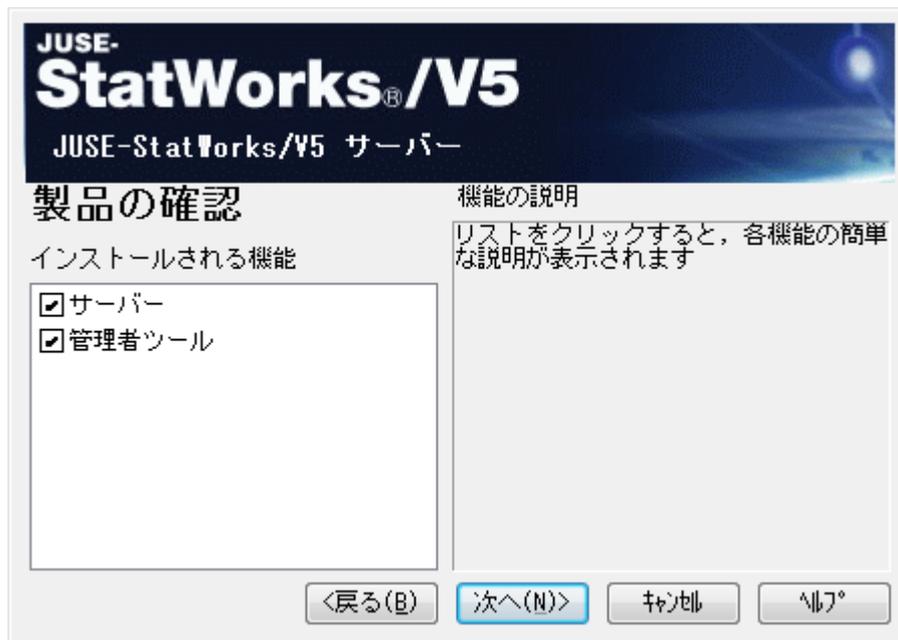
手順 5

「使用許諾契約」が表示されます。インストールを続ける場合は「同意する」を選択し [次へ] をクリックして下さい。



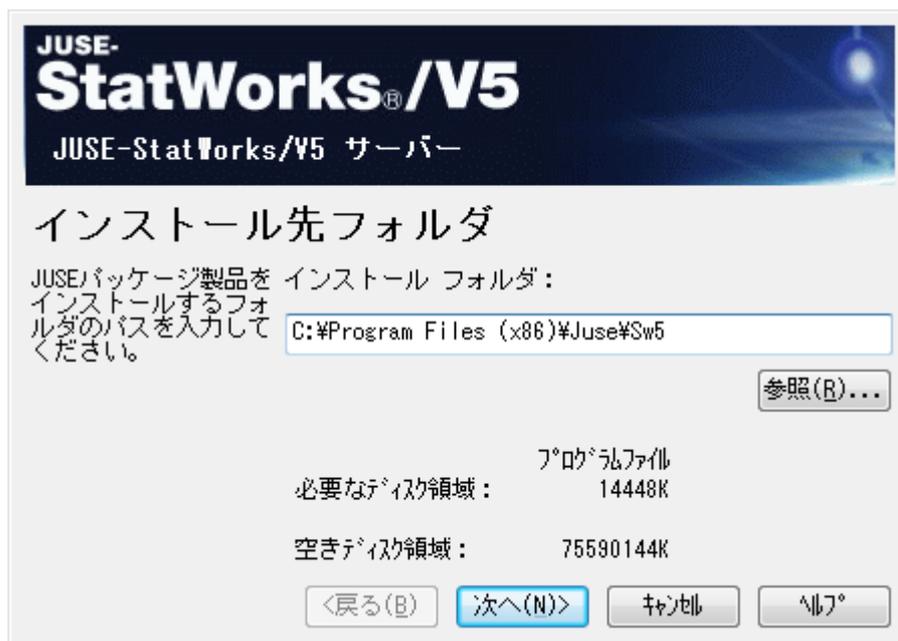
手順 6

インストールする製品を確認します。確認後 [次へ] ボタンをクリックします。



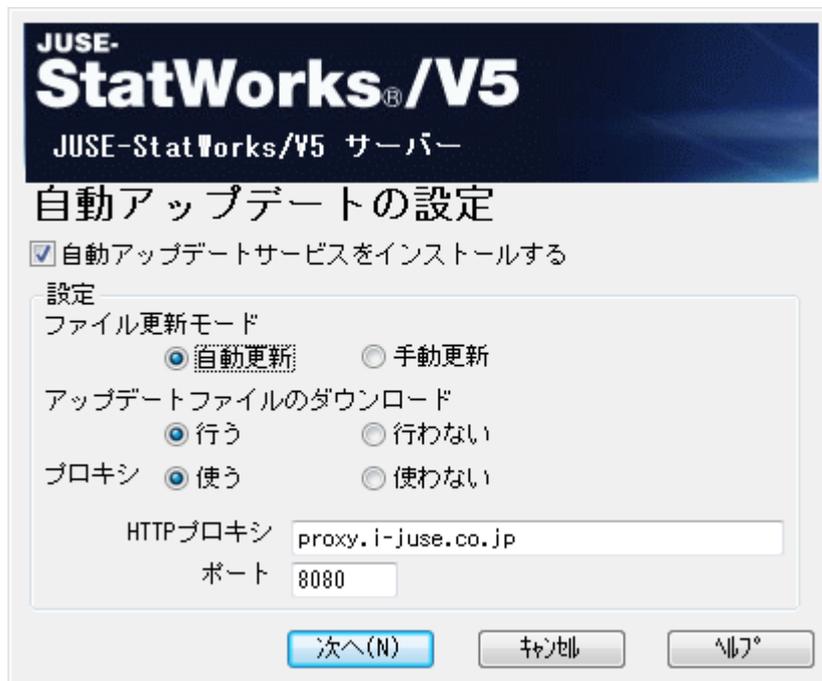
手順 7

インストール先フォルダを指定して下さい。「<CD ドライブ名>:<インストール先フォルダ>」または「¥¥コンピュータ名¥<インストール先フォルダ>」で指定します。



手順 8

インストール後、システムを自動的に更新する場合は「自動アップデートサービス（※1）をインストールする」を選択してください。



※本画面の HTTP プロキシは例です。

手順 9

[次へ]ボタンを押すと、ファイルコピーを開始します。

手順 10

サーバーPCに必要なランタイムライブラリがない場合は下記のようなメッセージが表示されます。「はい」を選択してランタイムライブラリをインストールして下さい。

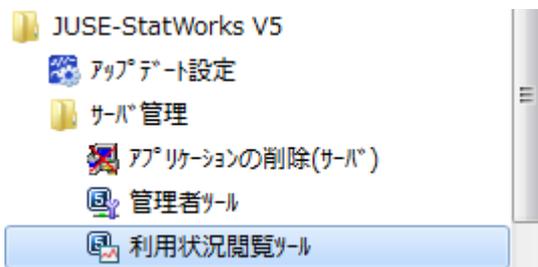


手順 11

ファイルのコピーとインストール設定が終了するとメッセージが表示されます。最後に「オンラインユーザ登録」の選択をおこない、[インストールの終了]ボタンを押して終了します。

手順 12

スタートメニューが登録されます。



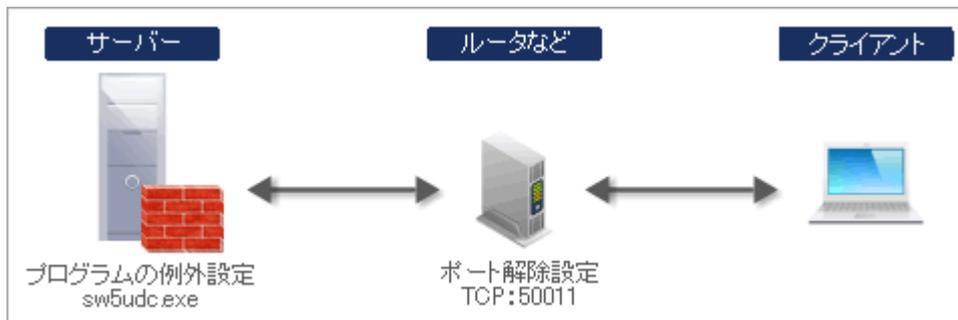
1-3) サービスの起動

ネットワーク版の新規インストール時には、「1.3.1 ファイアウォール、ポートの設定」と「1.3.2 サービスの起動」の手順を実行します。

有償保守契約者向けアップデート版のインストールなど、既にネットワーク版がインストールされた PC に上書きインストールを行う場合は、「1.3.2 サービスの起動」の手順のみを行います。

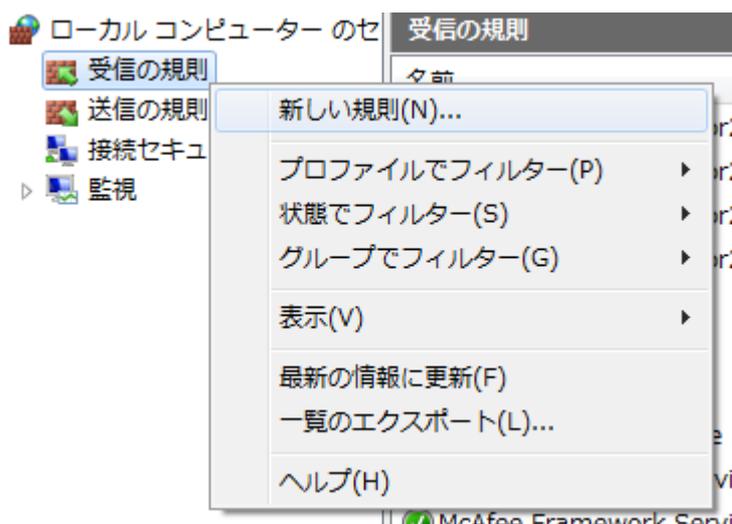
1.3.1 ファイアウォール, ポートの設定

ネットワーク版サーバーの場合, サーバーからクライアントへアップデート用差分ファイルを配信するには「サーバー側のファイアウォール」および「サーバー・クライアント間の通信機器で適切なポート設定」が必要です。

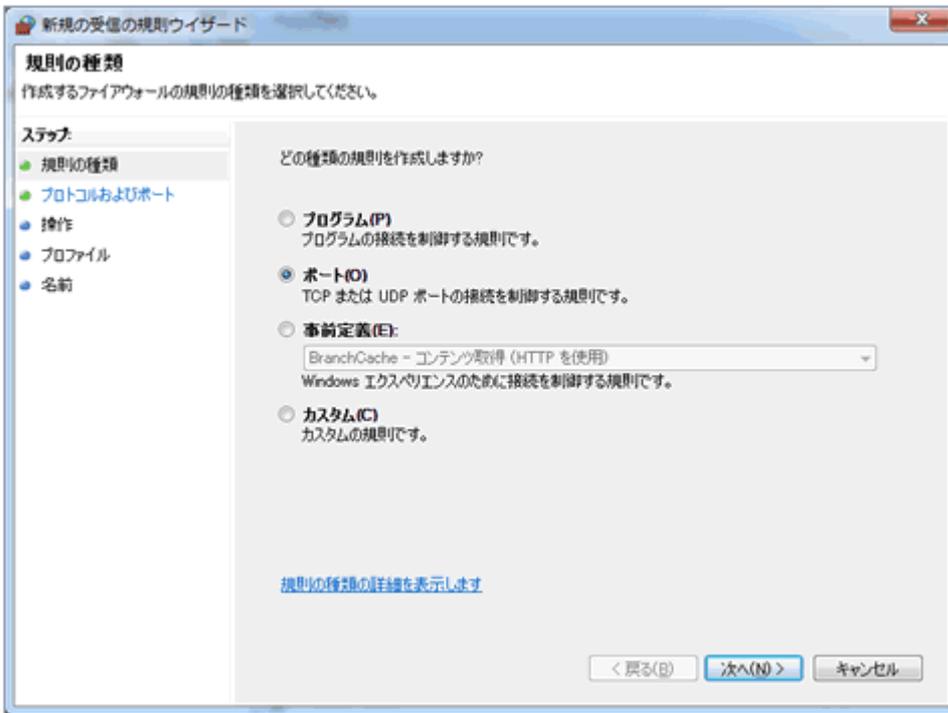


1) ライセンスサーバーのポート設定

【Windows Server2003/Server2008/Server2012 標準ファイアウォールの場合】 [スタート]メニュー-[コントロールパネル]から[Windows ファイアウォール]をクリックして下さい。「詳細設定」をクリックして「セキュリティが強化された Windows ファイアウォール」ダイアログを表示させます。右側の「受信の規則」を選択してから右クリックし、「新しい規則...」を選択します。



「規則の種類」で「ポート」を選択し、「次へ」ボタンを押します。



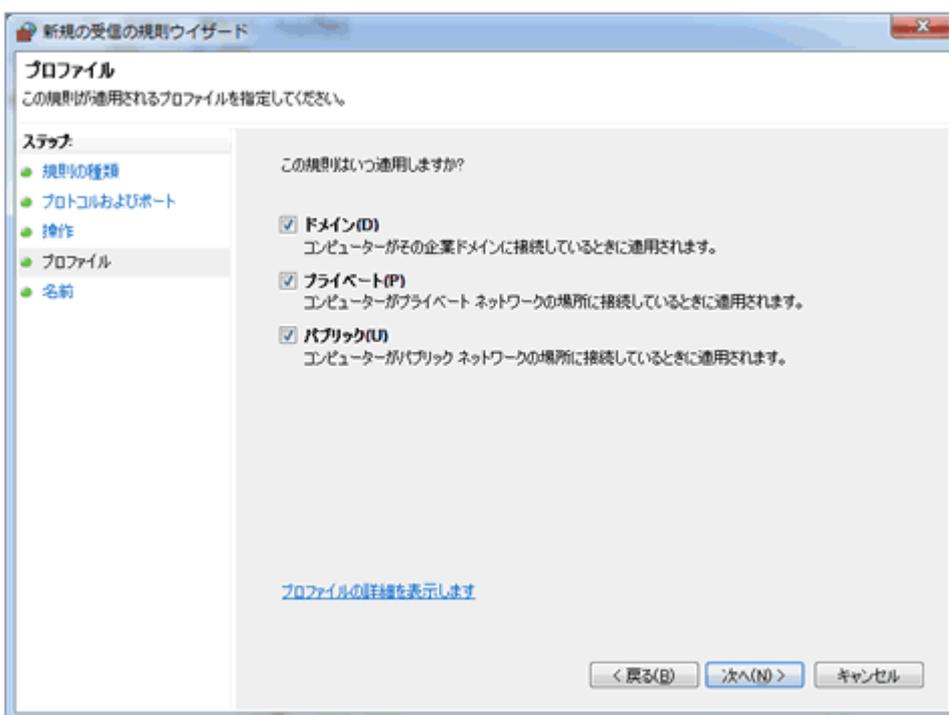
「プロトコルおよびポート」では「TCP」と「特定のローカルポート」を選び、ポート番号として「8765」を入力し、「次へ」ボタンを押します。



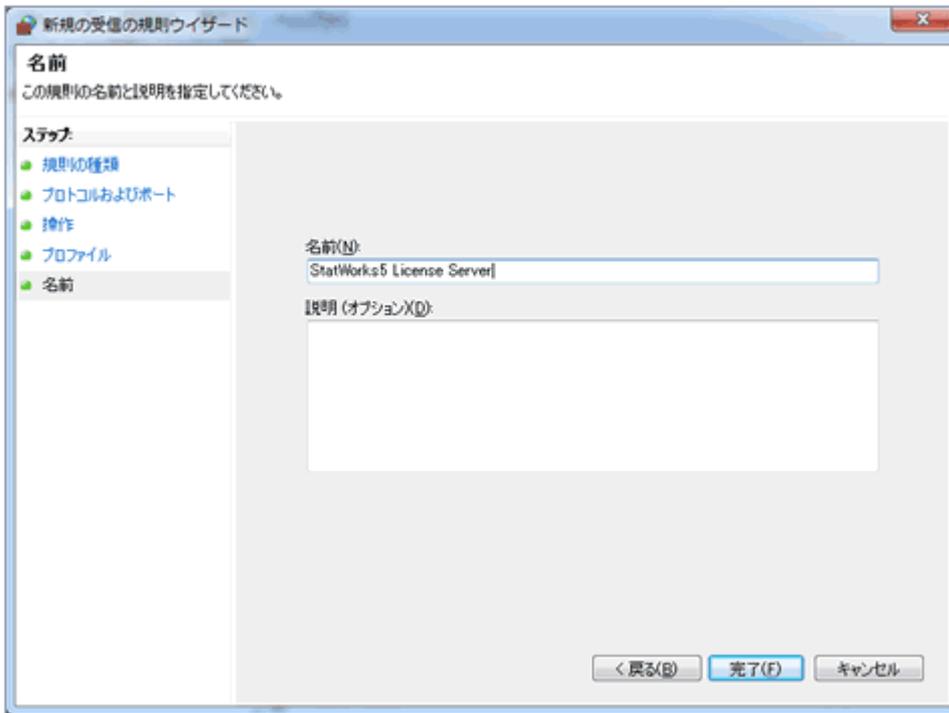
「操作」では「接続を許可する」を選択し、「次へ」ボタンを押します。



「プロファイル」は全ての規則をチェックし、「次へ」ボタンを押します。



「名前」に「StatWorks5 License Server」などの識別しやすい名称を入力し、「次へ」ボタンを押します。以上の操作で、ライセンスサーバーとクライアント間の通信がポート 8765 を通るよう、ファイアウォールに設定されました。



2) ログサーバーのポート設定

ライセンスサーバーと同様、「受信の規則」に「新しい規則」を追加します。手順や選択する項目はライセンスサーバーと同様ですが、「プロトコルおよびポート」では「ポート番号」に「8764」, 「名前」では「StatWorks5 Log Server」などの名称を入力して下さい。

3) 自動アップデートサーバーのポート設定

ライセンスサーバーと同様、「受信の規則」に「新しい規則」を追加します。「プロトコルおよびポート」では「ポート番号」に「50011」, 「名前」では「StatWorks5 Update Server」などの名称を入力して下さい。

4) 通信機器のポート設定

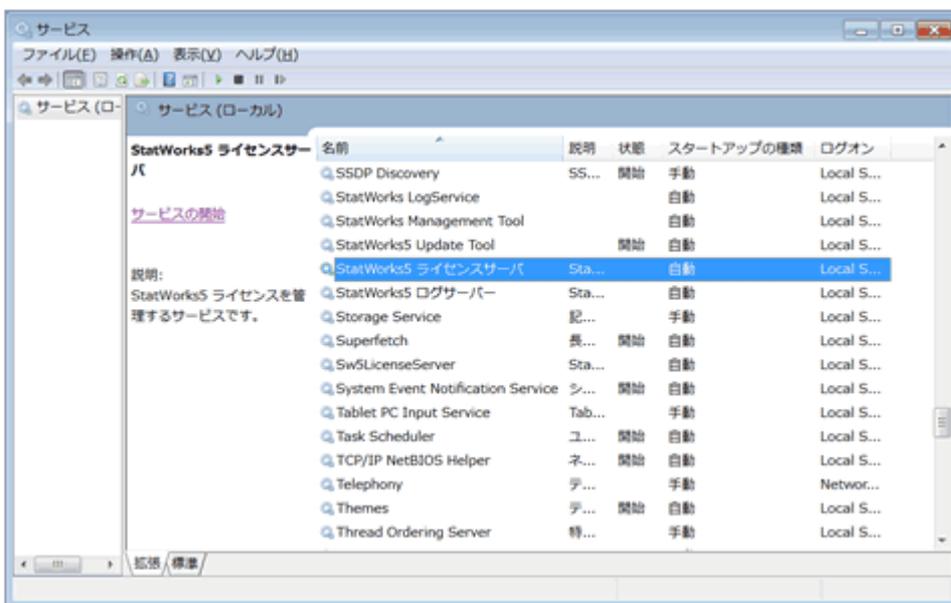
サーバー・クライアント間にルーターなどネットワーク中継機器があり、それらに個別のポート設定がされている場合はポートを開放する必要があります。詳しくはネットワーク管理者にご確認下さい。サーバーのサービスプロセスは「ポート番号は 8765, 8764, 50011, プロトコル

はTCP」を使ってクライアントからの要求を処理します。ルーターがこれらのポートを遮断している場合は開放設定をおこなって下さい。

1.3.2 サービスの起動

ライセンスサーバー、ログサーバー、自動アップデートサーバー(以下サービスプロセス)を手動で「開始」または「停止」するには以下の操作をおこなって下さい。

[スタート]メニュー-[プログラム]-[管理ツール]-[サービス]を開き、リストの中から [StatWorks5 ライセンスサーバー] を見つけて下さい。「状態」が空白または「停止」になっている時は、その行を選んで右クリックし [開始] を選択して下さい。



※[スタート]メニューに[管理ツール]が表示されない場合、[スタート]メニューの少し左側で右クリックして「プロパティ」を開きます。「詳細」タブまたは「[スタート]メニュー」タブの「カスタマイズ」を開きリスト中の「管理ツール」を「表示」に設定して下さい。

※PC を再起動した場合は自動的にサービスプロセスが開始されます。上記の操作は必要ありません。

同様に「StatWorks5 ログサーバー」と「StatWorks5 Update Tool」も「開始」に設定して下さい。

1-4) ライセンスセットアップ

手順 1

ファイルエクスプローラで CD 上の setup.exe を探して実行するか, [スタート]メニュー-[ファイル名を指定して実行]を選んで「コマンド入力欄」に「<CD ドライブ名>:%setup.exe」と入力して[OK]ボタンを押します。

手順 2

インストールタイプの選択画面が表示されます。「ライセンスセットアップ」を選択し、「次へ」ボタンを押して下さい。



手順 3

「ライセンスファイルを選択して下さい」と表示されますので[OK]ボタンを押して下さい。CD のルートフォルダにライセンスファイル sw5.lic がありますので、そのファイルを選択して「開く」ボタンを押して下さい。

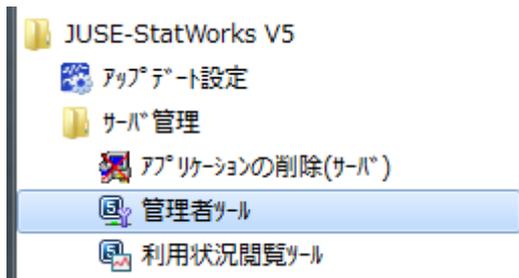
手順 4

「ライセンスをインストールしました」のメッセージが表示され、インストールが終了します。

1-5) ライセンスのアクティベート

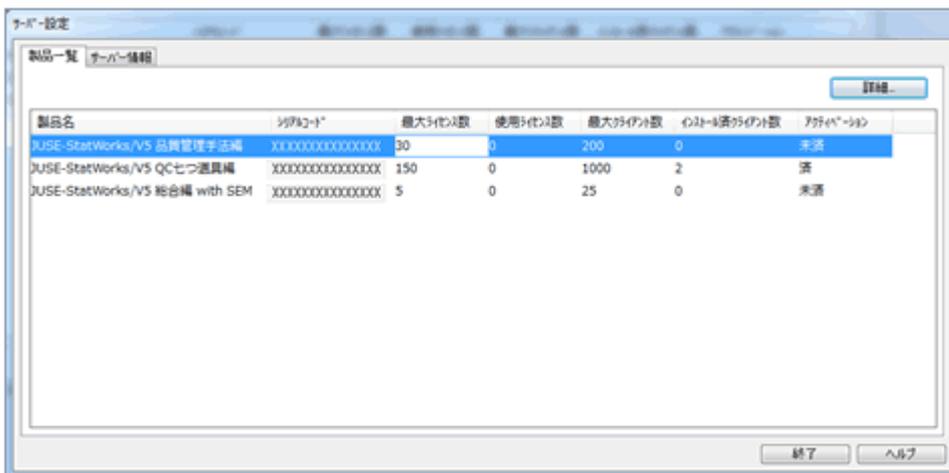
手順 1

スタートメニューから[全てのプログラム]-[JUSE-StatWorks V5]-[サーバー管理]-[管理者ツール]を選択します。



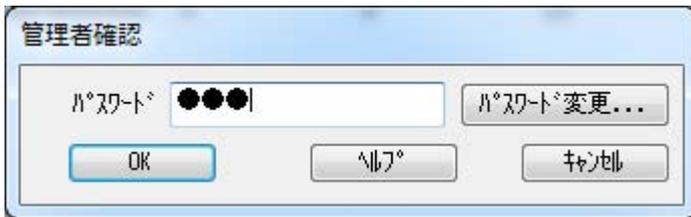
手順 2

「アクティベーション」欄が「未済」となっている行を選択して「詳細」ボタンを押します



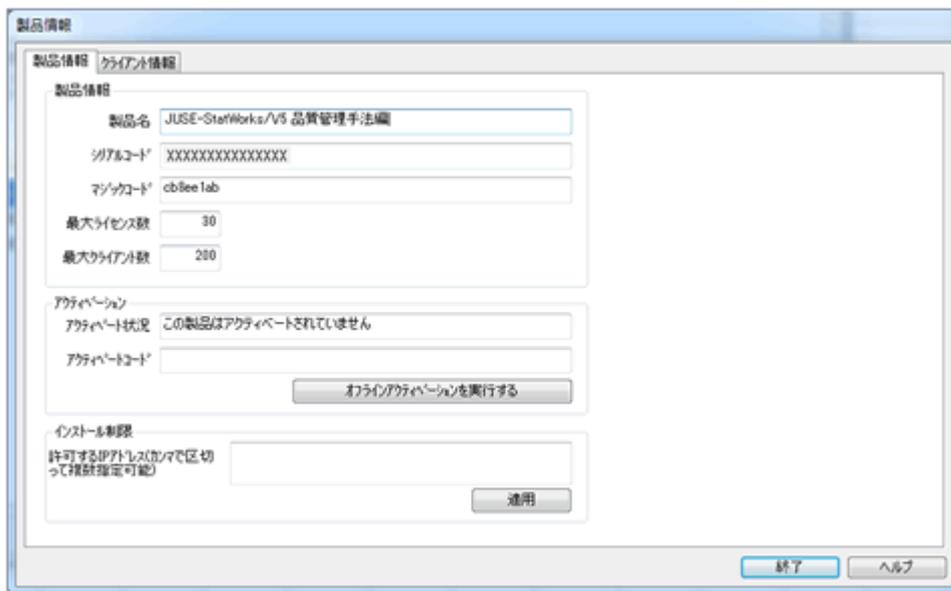
手順 3

パスワードを入力します。インストール直後のパスワードは「xyz」になっています。パスワードを入力して「OK」ボタンを押します。



手順 4

「製品情報」画面で「オフラインアクティベーションを実行する」ボタンを押します。



シリアルコードとマジックコードを控えて下さい。

手順 5

インターネットに接続できる PC を使い、日科技研 Web サイト上でアクティベートをおこなって下さい。インターネットに接続できる PC でブラウザを起動し、URL 欄に「[http:// www.i-juse.co.jp/statistics](http://www.i-juse.co.jp/statistics)」を指定します。下記ページが表示されますので画面中段の右側にある「StatWorks/V5 アクティベーションはこちら」ボタンを押して下さい。



下記 URL からアクティベーションページを表示できます。

<http://www.i-juse.co.jp/statistics/support/pm/activatem.html>

手順 6

手順 4 で控えたシリアルコード, マジックコードを「ユーザ ID」, 「マジックコード」に入力し, 「送信(入力内容確認)」ボタンを押します。



手順 7

「2.入力内容の確認」画面で内容を確認し、間違いがなければ「通信(アクティベートコード取得)」ボタンを押して認証を行います。



手順 8

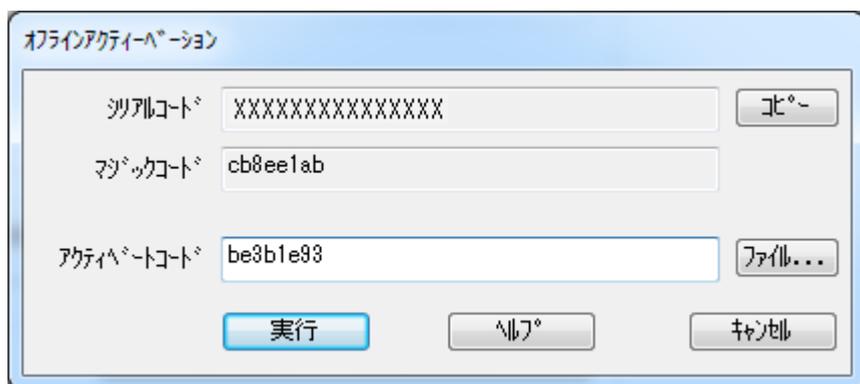
「3. アクティベーション完了」画面が表示されますので、「アクティベートコード」の 8 文字を紙に控えて下さい。

アクティベーションが完了しました。下記のアクティベートコードを StatWorks に登録して下さい。

アクティベートコード	3c89c4ac
ユーザID	<input type="text"/>
マジックコード	d82ed299

手順 9

「手順 1」～「手順 4」で「オフラインアクティベーション」画面を表示させ「手順 8」で控えた「アクティベートコード」を入力し、「実行」ボタンを押して処理を完了して下さい。



オンラインアクティベーション

シリアルコード: XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX [右向き矢印]

マシンのコード: cb8ee1ab

アクティベーションコード: be3b1e93 [ファイル...] [右向き矢印]

[実行] [戻る] [キャンセル]



2. クライアント PC のインストール

クライアント PC は「自動アップデートサービス」がインストールされている場合（インストールされていると、Windows のスタートメニューに StatWorks/V5 「アップデート設定」のメニューが出てきます）、サーバー PC のアップデート後に自動的にクライアント PC もアップデートされますので、アップデート作業は特に必要ありません。

一方、「自動アップデートサービス」をインストールしていない場合は、個々のクライアント PC で、クライアントセットアップを実行してください。

2-1) 事前準備

- あらかじめ管理者権限のあるユーザーアカウントでログオンするか、管理者権限のあるユーザーアカウントのパスワードをご用意ください..
- クライアントセットアップはサーバー PC 上でのサーバーセットアップ、ライセンスセットアップを完了させてから行なって下さい

2-2) クライアントセットアップ

手順 1

CD をドライブに挿入します（オートスタートが設定されている場合は自動的に setup.exe が起動します。手順 2 は必要ありません）

手順 2

ファイルエクスプローラで CD 上の setup.exe を探して実行するか、[スタート]メニュー-[ファイル名を指定して実行]を選んで「コマンド入力欄」に「<CD ドライブ名>:%setup.exe」と入力して[OK]ボタンを押します。

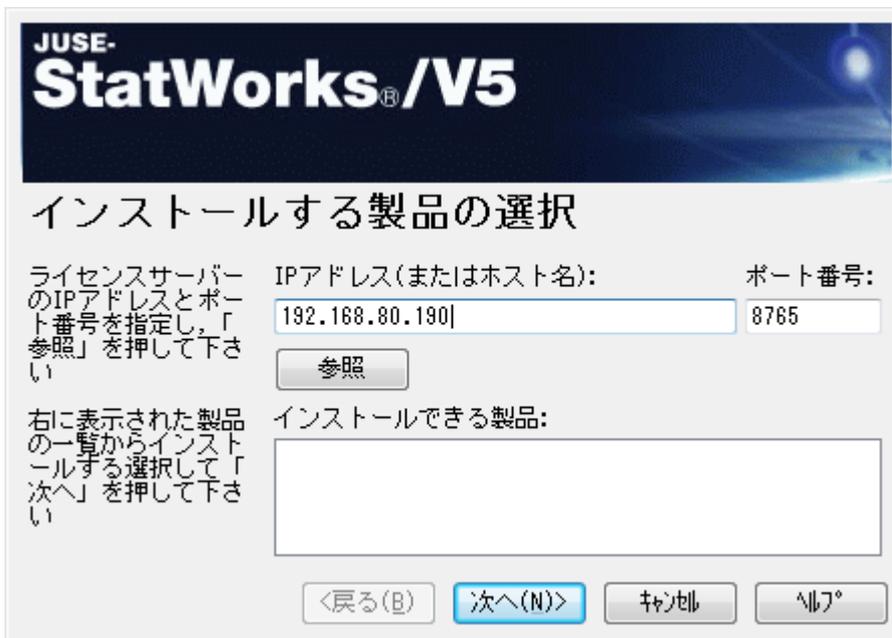
手順 3

インストールタイプの選択画面が表示されます。「クライアントセットアップ」を選択し、「次へ」ボタンを押して下さい。



手順 4

サーバーの IP アドレス(またはホスト名)を指定し、「参照」ボタンを押します。



※本画面の HTTP プロキシは例です。

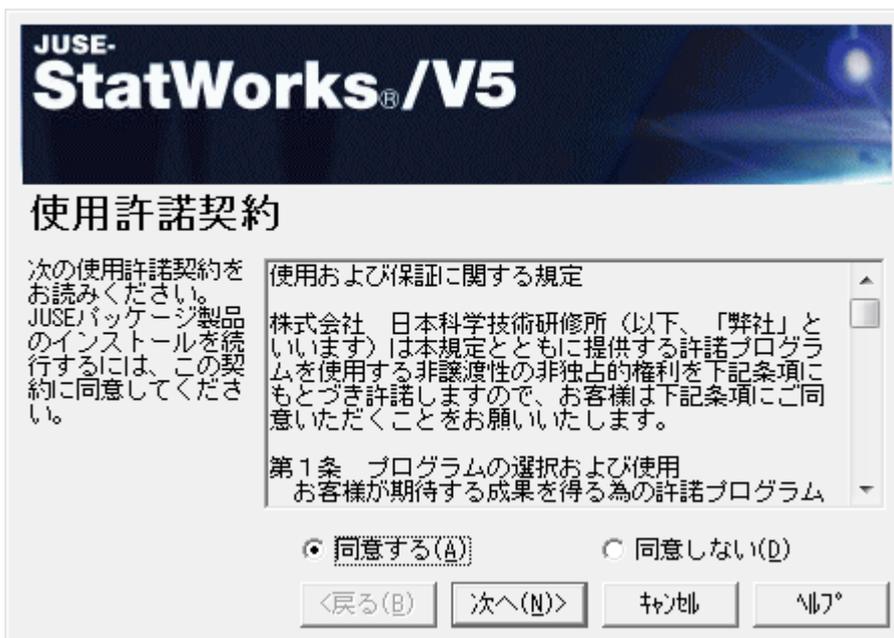
手順 5

「インストールできる製品」に表示された製品を 1 つ選択して「次へ」ボタンを押します。



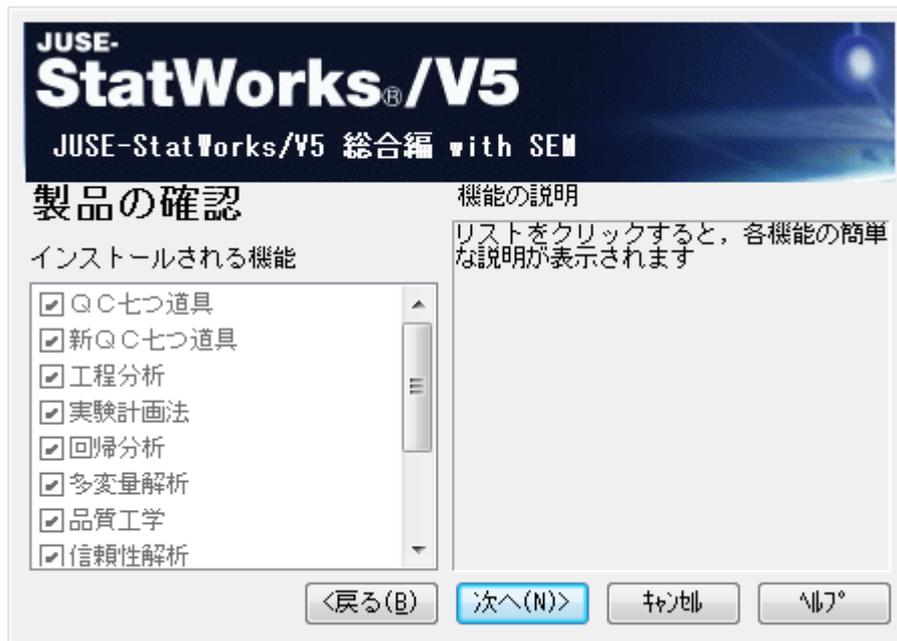
手順 6

「使用許諾契約」が表示されます。インストールを続ける場合は「同意する」を選択し [次へ] をクリックして下さい。「同意しない」を選択した場合は先へ進めません。[キャンセル]を押してインストールを終了して下さい。



手順 7

インストールされる機能を確認します。変更はできません。確認後 [次へ] を押してインストールを続けます。



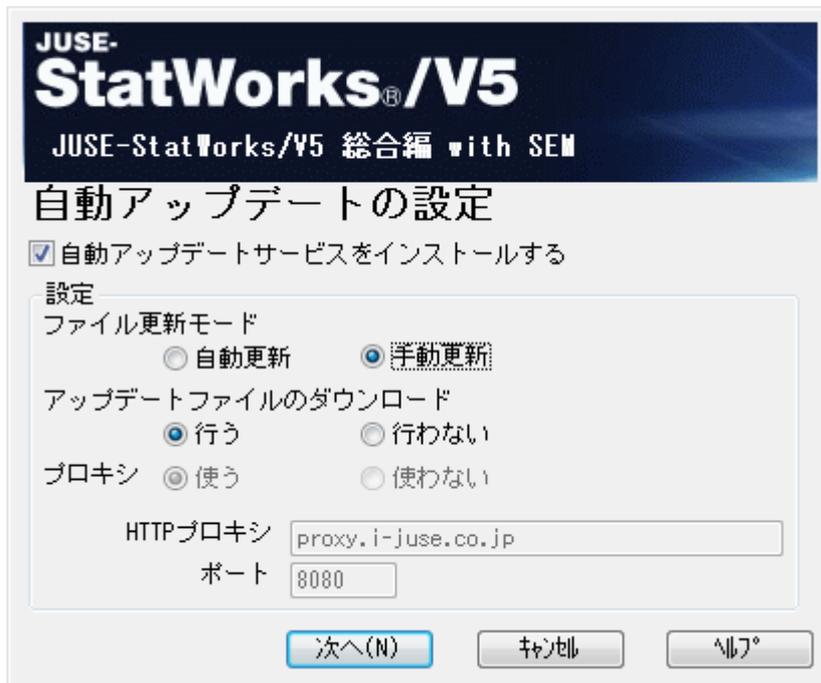
手順 8

インストール先フォルダを指定して下さい。「<CD ドライブ名>:<インストール先フォルダ>」で指定します。



手順 9

インストール後、システムを自動的に更新する場合は「自動アップデートサービス (※1) をインストールする」を選択してください。

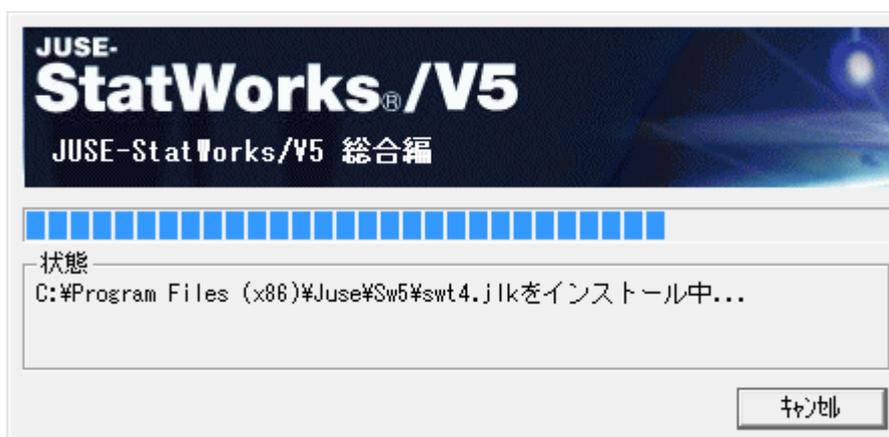


手順 10

初めてインストールをおこなった PC ではサーバーへの登録完了メッセージが表示されます。

手順 11

[次へ]ボタンを押すと、ファイルコピーを開始します。

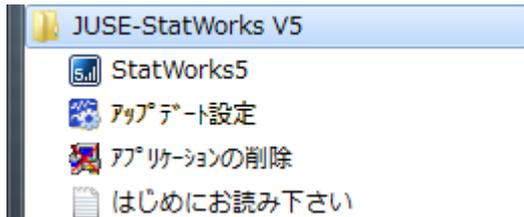


手順 12

ファイルのコピーとインストール設定が終了するとメッセージが表示されます。最後に「デスクトップにアイコンを登録する」をチェックし、[インストールの終了]ボタンを押して終了します。

手順 13

スタートメニューとデスクトップアイコンが登録されます。



※1 自動アップデートサービスや、その他のネットワーク版インストールの詳細は、製品同梱の「JUSE 統計パッケージ インストールガイド ネットワーク機能」をご覧ください。

3. サーバーPC のアップデート

3-1) 事前準備

- あらかじめ管理者権限のあるユーザーアカウントでログオンするか、管理者権限のあるユーザーアカウントのパスワードをご用意ください。
- アップデートは、StatWorks5 のクライアントプログラムが起動していない状態で行ってください。
- 有償保守契約者向けアップデート版をインストールする際は、お持ちの通常製品のユーザーID を用いて上書きインストールを行います。手順は「1. サーバーPC のインストール」をご覧ください。

3-2) サーバーアップデート

1. サーバー上に作業用フォルダを作成し、弊社 HP からダウンロードしたアップデートプログラム「jud5xx.exe」(xx は二桁の数字) を、作成した作業用フォルダにコピーして下さい。
2. jud5xx.exe をダブルクリックして下さい。解凍先フォルダの指定ダイアログが表示されますので、デフォルトのまま「OK」ボタンを押して下さい。ファイルの解凍が始まります。
3. ファイルの解凍が終了すると、自動的に「製品のアップデート」ダイアログが起動します。(もし「製品のアップデート」ダイアログが自動的に起動しない場合は、作業用フォルダの下の「jud5xx」フォルダにある「update.exe」をダブルクリックして下さい)
4. 「製品のアップデート」ダイアログの「アップデート開始」ボタンを押して下さい。アップデートが開始されます。
5. 「製品のアップデート」ダイアログの右下にある「アップデート状況」項目の状況が「終了」となれば、アップデートは終了です。「終了」ボタンを押し、「製品のアップデート」ダイアログを閉じて下さい。
6. Windows の[スタート]メニューから[プログラム]-[管理ツール]-[サービス]を選択し、表示されるサービスの一覧の中から「StatWorks5 ライセンスサーバー」を見つけて下さい。そ

して、「StatWorks5 ライセンスサーバー」の行を選択してからマウスの右ボタンをクリックし、「開始」を選択して下さい。

7. サービス一覧の中の「StatWorks5 ログサーバー」に対しても手順 6 と同様の操作を行って下さい。
8. 以上で StatWorks/V5 サーバプログラムへのアップデート作業は完了となります。サービス一覧画面は閉じていただいて結構です。また、手順 1 で作成した作業用フォルダは、中身ごと削除していただいて結構です。